



横浜市福祉サービス第三者評価

評価結果報告書

保育園小紅

令和元年 8月

評価実施機関

特定非営利活動法人

よこはま地域福祉研究センター

目 次

実施概要	1
評価結果についての講評	2
分類別評価結果	5
評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重	5
評価領域Ⅱ サービスの実施内容	8
評価領域Ⅲ 地域支援機能	11
評価領域Ⅳ 開かれた運営	12
評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上	13
評価領域Ⅵ 経営管理	15
利用者家族アンケート分析	17
利用者本人調査	21
事業者コメント	23

◆ 第三者評価実施概要 ◆

事業所名	保育園 小紅
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター
報告書作成日	令和元年8月7日
評価に要した期間	4カ月間

*評価方法

1. 自己評価 【実施期間：令和元年5月10日～6月20日】
 - ・職員会議で趣旨を説明後、個々のペースで自己評価をおこなった。
 - ・個々の自己評価をもとに、各クラスで話し合いまとめた。調理室ではリーダーとパート職員が意見交換し内容を確認した。経営管理については園長と主任で話し合い内容を確認した。
 - ・各部署でまとめた内容を職員会議で1項目ずつ確認し協議して合意した。
2. 利用者家族アンケート調査 【実施期間：令和元年5月17日～5月31日】

配付：全園児の保護者（30家族）に対して、園から手渡した。

回収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。
3. 訪問実地調査 【実施日：令和元年7月8日、7月10日】
 - 第1日目
 - 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。
 - 午 後：書類調査／事業者面接調査（園長）
 - 職員ヒアリング調査（主任・保育士・栄養士）
 - 第2日目
 - 午 前：事業者面接調査（園長、主任）
4. 利用者本人調査 【実施日：令和元年7月8日】
 - ・訪問実地調査の当日、各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排泄、午睡の状況、登降園の様子等を観察。
 - ・主に観察調査と食事の時間等に話せる子には聞き取り調査を実施。

◆ 総評～評価結果についての講評 ◆

【施設の概要】

保育園小紅は、JR 京浜東北線石川町駅北口に面した学校法人横浜山手中華学園の 1 階にある認可乳児保育所です。駅前にあり、園舎は日当たりがよく、明るく広々としています。広いウッドテラスがあり、片隅では野菜や花を育てていて、夏には子どもたちがプール遊びを楽しんでいます。

保育園小紅は、1967 年 4 月に華僑の女性によって設立された園児 3 名の「小紅託児所」を前身とする歴史ある保育園です。1997 年 7 月に横浜保育室として認定され、「保育園小紅」と改名し、2017 年 4 月に認可乳児保育所となり、現在の地に移転し開園しました。「小紅」（シャオホン）という名は、「小さくとも元気でキラキラ輝く子であれ」という保護者の思いが込められています。運営法人は、一般社団法人横浜華僑小紅の会です。

定員は 33 人（0 歳児～2 歳児）、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）は 7 時半～19 時半、土曜日は 7 時半～18 時半です。

保育理念は、「子ども、保護者、職員がともに育つことを大切に地域に根ざした保育を行います」「午前中、乳児は外気浴、幼児は体を使い外で思いっきり遊びます」、保育目標は「中国と日本文化を継承し、遊びの中で体を鍛え国際性社会性を身につけ、感性豊かで思いやりのある子に育てます」です。

1. 高く評価できる点

● 家庭的な雰囲気の中、子どもたちは素直に自分の思いを表し、のびのびと園生活を過ごしています

乳児に特化した定員 33 人の小規模な保育園で、全職員が全園児の成長を見守る家庭的な雰囲気があります。保育士は一人一人の子どもに優しく話しかけ、子どもの仕草や表情、言葉などから子どもの気持ちを把握し、寄り添っています。2 歳児までのため言葉で自分の気持ちををはっきりと表現できる子どもは少ないですが、保育士は子どもの発する単語を丁寧に拾って言葉にして返して子どもの気持ちを確かめ、丁寧に応えています。このような保育士の働きかけのもと、子どもたちは素直に自分の気持ちを表情や態度、身体全体で表現し、それぞれのペースで過ごしています。

園は、雨でなければ毎日、ウッドテラスで日光浴をしたり、近くの公園に散歩にでかけたりし、外気の中で身体を動かしています。公園での子どもたちは、電車ごっこやボール遊び、追いかっこを楽しんだり、砂でままごと遊びをしたり、虫を探したりし、皆が自分で好きな遊びを見つけることができます。公園に来ている近隣住民や他園の子どもたちとの交流もあります。

食事は、中国籍の子どもが多いこともあり、食習慣の違いから食事がなかなか進まない子どもも多いですが、保育士はそれぞれのペースに合わせ、少しでも食べるように声がけしています。食事は、それぞれの家庭と連携しながら個別に対応していて、離乳食の完了食の後に軟飯を用意するなど一人一人の咀嚼力に合わせた対応をしています。また、季節の野菜を育てたり、空豆の皮むきやうどん作りなどの食育を実施し、子どもが食に興味を持ち、食の楽しみを感じられるように支援しています。

このように、子どもたちは一人一人のペースを大切にしてもらい、のびのびと園生活を楽しんでいます。

● 保育士は園理念や方針を共有し、目指す保育の実践に向けて連携しています

園は、全体的な計画の作成時に園理念や方針を確認して方向性を共有するとともに、職員会議や園内研修で折りに触れて取り上げ、振り返っています。月 1 回の園内研修では、新保育所保育指針、中国語学習会、遊びについてのグループワーク、感染症や嘔吐処理などを取り上げていて、常勤職員・非常勤職員ともに参加しています。園内研修での話し合いを基に、マニュアルの作成、見直しをされていて、職員の気づきや意見が反映された現場に即したマニュアルが整備されています。また、横浜市や中区ネットワークの研修にも積極的に参加し、園内研修で報告しています。

職員は、週 1 回のクラス会議とリーダー会議、月 1 回の職員会議で一人一人の子ども様子について話し合い、全職員が全園児の情報を共有し、いつでも誰でもが協力できる体制を築いています。会議録は回覧する、日々の申し送りや子どもの様子は連絡ノートを用いるなど、職員間で伝達漏れがないように工夫し、情報共有の徹底を図っています。

このような取り組みの結果、家庭的で風通しの良い職場の雰囲気できていて、保育士はクラス内でも子どもの様子について絶えず意見交換し、連携しています。観察時の公園でも、保育士がお互いに声を掛け合いクラスの枠を超えて子どもを見、子ども一人一人が好きな遊びができるように支援している様子を確認することができました。

● 保護者が安心して子育てができるよう支援しています

園は、保育理念に、「子ども、保護者、職員がともに育つことを大切に」を掲げ、保護者とともに子育てをしていくことを大切にしています。年 2 回の保護者会では、園の方針や子どもの様子を伝え、保護者の意見を聞いています。行事後には保護者アンケートを実施し、保護者の意見を翌年の行事に反映しています。

朝夕の送迎時には園長を始めとして全職員が保護者に挨拶をして声をかけ、保護者が意見を言いやすい雰囲気を作っています。年 1 回の個人面談の他、折りに触れて面談を実施し、保護者の相談にのっています。日本語でのコミュニケーションが難しい保護者に対しては、園長や中国語が話せる保育士が対応し、保護者が安心できるようにしています。離乳食など日本の子育ての習慣についても保護者に伝え、保護者の気持ちを受け止めて悩みを聞き、日本での子育てがスムーズにいくように支援しています。

このような園の姿勢は保護者の信頼につながっていて、今回の保護者アンケートの支持率の高さでも読み取ることができます。

2. 独自に取り組んでいる点

● 子どもたちが日本と中国の文化を継承できるよう、様々な取り組みをしています

園は、保育目標に中国と日本文化の継承を掲げ、子どもたちが双方の文化を理解できるように取り組んでいます。日常の保育は日本語で行っていますが、日常の挨拶を日本語と中国語で行ったり、中国語の歌を歌ったりしています。まだ言葉がよく伝わらない子どもには、家庭で用いている中国語の単語を用い、子どもと意思疎通をとる時もあります。

また、中国の行事を祝ったり、獅子舞や龍舞などを保育に取り入れ、子どもたちが楽しみながら中国の伝統文化を学ぶ機会を作っています。

3. 工夫・改善が望まれる点

● 今後も、園の独自性を活かした地域支援を実践されていくことが期待されます

園は、中区の子育て支援事業であるグランマ保育園事業として絵本の貸し出しと育児相談を毎週火曜日に実施しています。また、近隣の保育園から相談を受け、言葉や風習の違いから日本の規則の理解が難しい保護者に母国語で説明するなどの支援もしています。

中華街に近いという地域性もあり、子育てに困難を感じている中国を始めとする外国籍の保護者は多くおり、ニーズは高いと思われます。今後は、中国語で応じることができるという園の特性を活かし、日本での子育てに悩む地域で子育てする保護者の相談にのったり、離乳食講座など日本の育児についての育児講座を企画したりし、地域の子育て支援ニーズに応えていくことが期待されます。

● ボランティアや実習生を受け入れていくことが期待されます

園は、華僑関係者を始め、地域の中学校や幼稚園、保育園などと積極的に交流していますが、ボランティアを受け入れるまでには至っていません。園としてもマニュアルを整備するなど、受け入れの体制を整えています。子どもたちが様々な地域住民と交流し社会性を広げるためにも、今後はボランティアを受け入れていくことが期待されます。

また、実習生についてもマニュアルなどを整備し、受け入れる姿勢はあるものの、受け入れについては今後の課題となっています。今後は、実習生を受け入れ、園が長年に渡り培ってきた日本と中国の文化の継承などのノウハウを次世代育成に活かしていくことが期待されます。

◆ 分類別評価結果 ◆



3つ：高い水準にある / 2つ：一定の水準にある / 1つ：改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類Ⅰ－１ 保育方針の共通理解と保育課程等の作成

評価分類Ⅰ－１ 保育方針の共通理解と保育課程等の作成



- (1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものであり、全職員が理解し、実践しているか。
- (2) 全体的な計画は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。
- (3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。

- ・保育理念は「子ども、保護者、職員がともに育つことを大切に地域に根ざした保育を行います」「午前中、乳児は外気浴、幼児は体を使い外で思いっきり遊びます」、保育目標は「中国と日本文化を継承し、遊びの中で体を鍛え国際性社会性を身につけ、感性豊かで思いやりのある子に育てます」です。保育理念、保育目標を保育室や事務室、厨房、休憩室に掲示するとともに、園内研修やクラス会議で職員に周知しています。保護者に対しては、重要事項説明書に明記し、入園説明会や年度初めの保護者会で説明しています。
- ・全体的な計画は保育理念、保育方針に基づき、家庭の状況や地域性を考慮して作成されていて、子どもの最善の利益を第一義にしています。全体的な計画は、園長がたたき台を作成し、園内研修で職員間で協議し作成しています。保護者に対しては、重要事項説明書に要旨を掲載し、年度初めの保護者会で園長が口頭で説明しています。
- ・全体的な計画に基づき年間指導計画、月間指導計画、年間食育計画、製作の計画を作成しています。
- ・活動前には保育士は子どもの年齢に合わせて目的や内容を説明しています。保育士は、子ども一人一人の言葉や表情、態度、反応などから子どもの意向を汲み取っています。子どもの消防車への興味をクラスでの消防士ごっこに発展させたり、虫が好きな子どもの様子を見て虫眼鏡や手作り双眼鏡を用いての公園での虫探しや良い物探しにつなげるなど、保育士は子どもの興味や関心、遊びの傾向を見て柔軟に計画を変更しています。

評価分類Ⅰ－２ 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施

評価分類Ⅰ－２ 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2) 新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。
- (4) 乳児保育(0歳児)において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。
- (5) 1歳以上3歳未満児の保育において、適切な環境を整備し、生活や遊びが充実するよう配慮しているか。

- ・入園説明会後やならし保育中に、担任、栄養士、主任または園長が保護者に面接し、家庭での子どもの様子を聞き、保護者の相談にのっています。入園時に保護者に家庭の状況や生活歴、既往症などを児童票、家庭生活調査票に記載してもらっています。面接時に把握した情報は、面談記録に記載してリーダー会議やクラス会議で共有し、保育に活かしています。
- ・ならし保育について重要事項説明書に記載し入園説明会で説明しています。ならし保育の期間は9日間を目安に子どもの様子や保護者の状況を考慮し、保護者と相談しながら柔軟に対応しています。新入園児の受け入れはクラスリーダーが担当しています。全園児、毎日連絡帳を用いるとともに、送迎時には会話し、保護者と密に情報交換しています。
- ・在園児への配慮としては、年度初めはパート職員の配置を厚くし、子どもと一対一で関われるように

しています。

- 子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成、評価、見直しをしています。指導計画はクラスで話し合った結果を基にリーダー会議で意見交換して作成、評価、見直しをし、月末の職員会議で共有しています。行事後の保護者アンケートの結果を基に行事を見直すなど、指導計画には保護者の意見も反映しています。
- 保育士は、子どもの表情や喃語、反応などにやさしく応え、一人一人の子どもが心地よく生活できるようにしています。保育室には、たたみのほふくコーナーやサークルなどで仕切ったスペースなどがあり、子どもの目線にあわせて絵本やおもちゃが並べられていて、一人一人の子どもが月齢や発育に合わせた活動ができるように環境設定されています。
- 保育士は一人一人の子どものやりたい気持ちを大切に、見守ったり、子どもが自分でできるように環境設定したり、一緒に遊んだりしています。子どもが身体を動かしたい時には広い空間を確保し、子どもが落ち着いて遊びたいときにはコーナーを設定するなど、子どもの活動にあわせて保育室の環境を整えています。2 歳児は活動内容に合わせて広い廊下を利用し、身体を動かせるようにしています。
- 保育士は子ども同士の関わりの様子を見守り、必要に応じて声をかけたり、おもちゃを足すなどしています。けんかなどの場合には、双方の思いを受け止めて、言葉を足したり代弁したりし、子どもが自分の思いを言葉で表現できるよう支援しています。

評価分類Ⅰ－３ 快適な施設環境の確保

評価分類Ⅰ－３ 快適な施設環境の確保



- (1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。
- (2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- おそうじチェック表を用いて清掃を行っていて、園の屋内・外ともに清潔に保たれています。こまめに窓を開けて換気するとともに、空気清浄機を保育室に設置しています。温・湿度計、エアコンを設置し、温・湿度の管理を適切に行っています。窓は大きく、陽光を十分に取り入れることができます。保育室はロッカーを用いて3クラスに仕切られていますが、保育士は穏やかに子どもに話しかけていて、隣のクラスの声が気になることはありませんでした。
- 乳児トイレには沐浴設備があります。テラスには温水シャワーの設備があります。沐浴・温水シャワーの設備は清掃が行き届き、管理が適切になされています。
- 保育室にはサークルや仕切り、マットなどを用い、小集団保育ができるようなコーナーが設けられています。保育室には食べる・寝るの機能別の空間が確保されています。1 歳児保育室を用いて、夕方の合同保育、誕生会、リトミックなどを行い、異年齢交流の場として用いています。

評価分類Ⅰ－４ 一人一人の子どもに個別に対応する努力

評価分類Ⅰ－４ 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- (1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それにあった個別指導計画を作成しているか。
- (2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。

- 全園児の個別指導計画を作成しています。個別指導計画は、毎月クラスで話し合い、作成、評価、見直しをするとともに、子どもの様子に変化が見られた場合には都度話し合い、変更、見直しをしています。食事や排泄、発達などの子どもの個別の課題については、保護者と話し合い、同意を得ています。
- 子どもや家庭の個別の状況、既往症、要望は児童票に記載しています。児童票は毎年、保護者に確認してもらっています。入園後の子どもの成長発達の様子は、4 期に分けて生活、遊びの項目ごとに経過記録に記録しています。児童票、経過記録、個人面談記録などの子どもの記録はファイルして事務室に置かれていて必要な職員はいつでも確認することができます。週1回のクラス会議、毎月の職員会議で子どもの様子について情報共有しています。会議録は回覧し、サインしてもらっています。

- ・3歳以降の子どもの進級先の幼稚園や保育園から子どもについての問い合わせがあった場合には、必要な情報を提供しています。同じ建物内にある幼稚園とは合同で会議を行うなど、連携しています。

評価分類Ⅰ－５ 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

評価分類Ⅰ－５ 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。
- (5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・個別のケースについて職員会議で話し合っていて、会議録に記録しています。障害などの研修に参加した職員は、毎月の園内研修で報告しています。会議録、研修記録は回覧し、全職員で共有しています。
- ・園内はバリアフリー構造となっていて、車椅子対応のトイレもあります。
- ・障害など配慮を要する子どもに対しては、保護者の同意を得て、横浜市中心部地域療育センターから意見や情報を得ています。障害の特性を考慮した個別指導計画を作成しています。保育士は、障害のある子どもに寄り添い、環境を整えたり子どもの気持ちを代弁して伝え、他の子どもたちと同じ活動ができるように支援しています。
- ・虐待の外部研修に参加した職員が園内研修で報告し、全職員で共有しています。虐待が明白になった場合や疑わしい場合、見守りが必要な場合には、中区こども家庭支援課や横浜市中心部児童相談所と連携する体制ができています。職員は常に園児の心身の状況を見守るとともに、送迎時には保護者と会話を交わして情報交換し、保護者が子育ての悩みを抱え込まないよう相談にのっています。
- ・アレルギー疾患のある子どもに対しては、子どものかかりつけ医が記載した「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を保護者に提出してもらい、それに基づき必要な対応をしています。アレルギー対応マニュアルを整備するとともに、職員会議や給食会議、園内研修で情報共有しています。食物アレルギーについては、毎月アレルギーチェック献立表を作成し、保護者に確認してもらい、除去食を提供しています。除去食提供にあたっては、給食職員と保育士、保育士間で口頭で伝達し、誤食を防いでいます。提供時には、別盆やクリップを用い、隣には保育士がつき誤食を防いでいます。
- ・中国籍の子どもが多数在籍しており、保育は日本語で行っていますが、日常の挨拶や行事、獅子舞、中国語の歌や踊りなどを取り入れ、子どもたちが中国の伝統文化を継承できるようにしています。意思疎通が困難な場合には、中国語の話せる園長や職員が対応することができます。

評価分類Ⅰ－６ 苦情解決体制

評価分類Ⅰ－６ 苦情解決体制



- (1) 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。
- (2) 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- ・相談・苦情解決責任者は園長、相談・苦情受付担当者は主任で、第三者委員2名を設置しています。重要事項説明書に記載するとともに玄関に掲示し、入園説明会で保護者に説明しています。
- ・玄関に意見箱を設置するとともに、保護者会や保護者アンケートで保護者の意見を聞いています。また、送迎時には保護者に声をかけて会話をし、話しやすい雰囲気作りをしています。
- ・中区こども家庭支援課などの外部の苦情解決窓口の紹介をしていません。今後は、重要事項説明書に記載し、保護者に紹介することが期待されます。
- ・苦情解決対応マニュアルがあり、第三者委員を交えて対応する仕組みができています。園独自で解決が困難な場合には中区こども家庭支援課と連携する体制ができています。
- ・要望や意見はリーダー会議や職員会議で職員に周知し、改善策について話し合っています。要望や意見は、苦情・ご意見報告書に記録し、データ化しています。

評価領域Ⅱ 保育の実施内容

評価分類Ⅱ－１ 保育内容

〔遊び〕

評価分類Ⅱ－１ 保育内容〔遊び〕



- (1) 子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。
- (2) 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。
- (3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。
- (4) 子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。
- (5) 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。
- (6) 積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

- ・保育室はワンフロアですが、クラスごとに低いロッカーで仕切りを作り、子どもたちの年齢や発達に状況に応じたコーナーを作っています。子どもたちは、落ち着いて、年齢や発達に応じた遊具やおもちゃ、絵本などで遊んでいます。
- ・外遊びや自由遊びの時間には、保育士は、発達の状況や一人一人が興味関心に沿った遊びができるように支援しています。また、2歳児は、フルーツバスケットやしっぽとりなどのルールのある遊びを通して友達関係や社会性につながるように配慮しています。
- ・保育室に面したウッドテラスでは、ミニトマトやピーマンなどの野菜を育てています。玄関にある、メダカやエビの水槽や青虫が羽化する様子を子どもたちが見守れるように配慮しています。近隣に大きな公園があり、近隣の人や他園の子どもたちとの交流もあり、地域や社会に関わる体験の場となっています。
- ・保育士は、場面転換や食事の前などに、歌を口ずさんだり、友だちとの手遊び歌などを通して、子どもたちが自分の気持ちを自由に表現できるように支援しています。また、日本語を覚えるための支援を行っていますが、挨拶は中国語と日本語を使うなど、子どもたちが無理なく、自分を表現できるように配慮しています。
- ・朝夕の合同保育の時間や公園遊びでは、年下の子どもが年上の子どものまねをしたり、年上の子どもが年下の子どもに声をかけるなど、異年齢の子ども同士が関わりを持つ機会となっています。
- ・日常的に散歩や外気浴などの屋外遊びを取り入れています。雨の日にも、リズム体操を取り入れたり、運動マットを活用し、積極的な健康増進の工夫をしています。

〔生活〕

評価分類Ⅱ－１ 保育内容〔生活〕



- (7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。
- (8) 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。
- (9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。
- (13) 長時間にわたる保育のための環境を整え、配慮した保育が行われているか。

- ・食育の取り組みとして、野菜を育て収穫する喜びや食材に触れる機会を増やしています。また、空豆の皮むきやうどん踏みなど食育活動を行っています。
- ・年齢や成長に応じた食器やいすの形状などに配慮しています。母国の食習慣にない食材の場合は、家庭と連携しながら、咀嚼を促し、少しずつなれるように配慮しています。
- ・食育カリキュラムを作成し、子どもたちの発達状況に合わせ、空豆の皮むきや泥付きのジャガイモを洗うなど、保育内容に取り入れています。また、課題抽出シートを作成し、子どもの喫食状況や、家庭の食習慣などに配慮し、献立や調理に活かし、日本の食材や食風土に馴染めるようにしています。
- ・親子で一緒に見ることでできるように、玄関ホールに給食サンプルを掲示し、離乳食の進め方など、家庭と連携しています。

- ・敷き布団に高反発で通気性のよいものを選び、時間や頻度は子どもの状況に応じて対応しています。プレスチェックは、年齢により確認の間隔を決め、チェック表を作り複数の職員が確認しています。
- ・おむつ交換は、一人一人の状況に応じて声をかけて、保育士との信頼関係を築き、清潔になる気持ちよさを感じるように配慮しています。トイレトレーニングは家庭と情報を共有し、子どもの自信につながるような声かけに努めています。
- ・多数の子どもが長時間となるため、おやつは補食に重点を置いています。朝夕は合同保育になりますが、保育士間で申し送りを行い、保護者にその日の子どもの様子を伝えています。

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理

【健康管理】

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【健康管理】



- (1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3) 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・健康管理マニュアルがあり、日々の業務と健康観察を適切に実施し、記録を残し、職員間で共有しています。
- ・健康診断等の結果は、保護者と共有し、必要に応じて、嘱託医やかかりつけ医と連携し、保育に反映しています。
- ・感染症マニュアルがあり、全職員に配布するほか、各保育室に設置し、内容は、職員会議で共有しています。最新情報は、職員だけでなく、保護者にも伝えて、感染拡大の予防に努めています。

【衛生管理】

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【衛生管理】



- (4) 衛生管理が適切に行われているか。

- ・衛生管理マニュアルがあり、園内研修で内容を共有するだけでなく、シミュレーションを行い見直しをしています。
- ・マニュアルには、年齢別のおむつ交換や沐浴、シャワー等、対応別の手順書を作成し、保育室内にも掲示し、全職員の対応が標準化されるようになっています。
- ・清掃等実施チェック表があり記録を残し、適切に衛生管理が行われている確認をしています。

【安全管理】

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 【安全管理】



- (5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。
- (6) 事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。
- (7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

- ・安全管理マニュアルがあり、年齢別に安全点検表を作成し毎日確認しています。避難訓練は、実際の災害を想定し、抜き打ち訓練を実施しています。
- ・ケガ・容体異常など発見時の対応マニュアルがあり、発生時の対応のほか、事故後の対応・処理、事故

防止対策等も記載してあります。また、緊急連絡先一覧には連絡先と緊急通報の要点を具体的に示し、保育室にも掲示しています。

- ・防犯マニュアルがあり、不審者対応について職員に周知しています。園の入り口は電子錠を施錠し、散歩等での異変については、園長・主任が即時行動ができる態勢を整えています。

評価分類Ⅱ－３ 人権の尊重

評価分類Ⅱ－３ 人権の尊重



- (1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・呼称やしつけなど、母国の風習との違いを理解し、対応については、一人一人保護者と話し合い、子どもの人格を尊重する働きかけ方について、職員会議で話し合い、職員間で適切な方法を共有しています。
- ・子どもに注意をするときや落ち着く時間が必要な場合など、必要に応じてコーナーを活用するなど、子どものプライバシーが守れる場所を確保しています。
- ・個人情報の取り扱いや守秘義務について、毎年新年度に全職員に周知しています。園で行っている自己評価では、保育士だけでなく、調理員も含めて全員に守秘義務の理解についての項目を設けて理解を確認しています。
- ・保育中、子どもの服装、色、遊び方、役割などについて、性差への固定的な対応はないことを確認しました。

評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携

評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



- (1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3) 保護者の相談に応じているか。
- (4) 保育内容（行事を含む）など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6) 保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

- ・園のしおりに、目的と方針を記載し、入園・進級後の保護者会で説明を行い、年度末にはクラス懇談会を開き、保護者の理解促進に努めています。保護者会にはほとんどの保護者が参加していますが、参加できなかった場合には、個別に情報提供を行っています。
- ・園児の送迎の時間や連絡帳で保護者と日常的に情報交換を行っています。年に１回の個別面談を行い、園での子どもの姿を伝え、保護者の子育ての悩みなどを気軽に話し合う機会としています。
- ・定期的な個人面談のほかに、必要を感じたときや保護者から要望があった場合には臨時に面談を行い、記録を残しています。
- ・小紅通（園だより）を毎月発行し、子どもの様子や月のスケジュールやお知らせ、園で子どもたちが歌っている歌の紹介など、園生活の情報を提供しています。また、廊下の掲示板にクラスや行事での子どもたちの写真を掲示し、保育の様子を知らせています。
- ・年齢の低い子どもたちのため、保護者がいることで活動に影響があることを考慮し、保育参観や保育参加は行っていないませんが、年間行事を事前に伝え、保護者が行事に参加できるように配慮しています。また、懇談会等に参加できなかった保護者には個別に対応しています。
- ・保護者４名が運営委員会に利用者代表として参加し、意見交換を行っています。また、保護者の有志による自主的なランチ会が行われており、そのうち合わせ等で、絵本コーナーや空いている保育室を提供しています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価分類Ⅲ－１

地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



- (1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。
- (2) 地域の子育て支援ニーズに応じて保育所の専門性を活かしたサービスを提供しているか。

- ・近隣保育所との連携があり、情報交換や交流を行っています。また、横浜保育室時代から市内の園長の自主的な集まりが毎月行われ、情報交換を通して地域の子育て支援ニーズを把握しています。
- ・地域の華僑団体、学校、幼稚園との交流、会議に出席し、言葉や風習の違いで日本の規則についての理解が難しい他園の保護者に、母国語で説明をするなど、園の特性を活かした支援を行っています。
- ・中区の「グランマ保育園事業」として絵本の貸し出しを実施しています。
- ・地域の保護者や子どもに向けて子育てや保育に関する講習・研修会や一時保育など、今後の実施を期待します。

評価分類Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能

評価分類Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能



- (1) 地域の保護者や子ども等への情報提供や育児相談に応じているか。
- (2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

- ・毎週火曜日に育児相談を実施しています。
- ・横浜市で実施されている市立保育所がネットワーク事務局園となっている区内保育所の連携に、園も参加し、実地研修や交流保育等、保育の質の向上のための取り組みに協力しています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

評価分類Ⅳ－１

保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



- (1) 保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。
- (2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。

- ・園のたよりや記念誌を、近隣の商店街や小中学校等へ配布したり、周年記念の写真展に近隣の方を招待するなど、地域に向けて園の理解促進に努めています。
- ・地域の中学生在が月１回来園し、大型絵本を読んだり、自由遊びなど園と交流しています。園児は、隣接する幼稚園の行事に参加するなど、地域の子どもの関係づくりに努めています。
- ・こども宇宙科学館や野毛山動物園、中華街の関帝廟など地域の文化・レクリエーション施設等を利用し、遠足では、山下公園や横浜公園まで歩くなど、子どもたちと地域とのつながりを大切にしています。

評価分類Ⅳ－２ 保育所における福祉サービスに関する情報提供

評価分類Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供



- (1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。
- (2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。

- ・横浜市のHPや保育園検索サイトに情報を提供しています。
- ・利用希望者からの問い合わせは、園長・主任が対応し、園の方針や保育内容等の説明をしています。
- ・見学希望者を受け入れ、パンフレットや園のたよりを提供し、丁寧に対応しています。
- ・中区の区民まつりや保育園についての説明会に毎年参加し、情報提供を行っています。

評価分類Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ

評価分類Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ



- (1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。
- (2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。

- ・現在、ボランティア・実習の受け入れはありません。
- ・子どもたちの体験機会の拡大や保育人材育成の観点から、ボランティア・実習の受け入れに備えて、マニュアルを整備し、職員に基本的な考え方や方針を説明しています。

評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類Ⅴ－１ 職員の人材育成

評価分類Ⅴ－１ 職員の人材育成



- (1) 保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。
- (2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。
- (3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。

- ・園長は、保育所運営に十分な人材育成であるかを常にチェックし、必要な人材の補充を行っています。現在人員基準を満たしていますが、今後の定員拡大や一時保育の実施に向け、人材確保に積極的に取り組んでいます。
- ・園の理念・方針を踏まえた人材育成計画があり、キャリアパスも見据えた体系的な研修計画が作成されています。職員は、6月頃の園長面談で前年度の振り返りと目標設定をし、11月頃の園長面談で達成度の評価と振り返りをしています。
- ・研修担当は主任で、職員のニーズや希望を考慮して研修計画を作成しています。毎月、中国語学習会、マニュアルの確認と実践、感染症などのテーマで園内研修を実施していて、非常勤職員、正規職員ともに参加しています。職員は、横浜市や中区ネットワーク、横浜女子短期大学保育センター等の外部研修に参加しています。外部研修に参加した職員は、研修報告書を提出し、園内研修で報告しています。研修報告書は回覧し、全職員で共有しています。園長は、研修の成果を確認し、次期の研修計画に反映しています。
- ・業務マニュアルがあり、非常勤職員を含む全職員に配付するとともに、各保育室に置きいつでも確認できるようにしています。
- ・正規職員と非常勤職員が必ず組み合わせるようにしています。園内研修の他、非常勤職員にも外部研修への参加を呼びかけるなどしています。非常勤職員の指導担当は主任で入職時はクラスに共に入って個別に指導するなどしています。クラスにおいてはクラスリーダーが非常勤職員の指導を行い、職員間のコミュニケーションを図っています。

評価分類Ⅴ－２ 職員の技術の向上

評価分類Ⅴ－２ 職員の技術の向上



- (1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。
- (2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。
- (3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。

- ・職員は年1回「自己評価申告書」を用いて自己評価しています。また、年1回園としての自己評価をしています。研修などで得た良い事例は園内研修や職員会議で報告し、改善に向けて話し合っています。園内研修の外部講師や横浜市中部地域療育センターから指導やアドバイスを受けています。
- ・指導計画には自己評価の欄があり、振り返りができるように定型化されています。振り返りは計画で意図したねらいと関連づけて行われています。保育士は子ども一人一人の育ちや意欲、取り組む姿勢などを大切に保育していて、振り返りもその視点で行われています。振り返りの結果は、その後の計画作成に反映されています。
- ・職員一人一人が園の自己評価を行い、それを基に園としての自己評価をまとめています。園の自己評価には、保護者アンケートの結果も反映しています。職員は、自己評価の結果から園としての課題を明らかにし、改善に向けて取り組んでいます。園としての自己評価の結果は、園便り「小紅通し」に掲載し、保護者や理事等に配付し、公表しています。

評価分類Ⅴ－３ 職員のモチベーションの維持



(1) 総合的な人事管理が行われているか。

(2) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

- 人材育成計画および人事基準があり、職員に周知しています。職員一人一人の自己評価および管理職からの評価を基に年 1 回人事評価をし、園長および理事長が個別に面談し、職員に結果を開示し、アドバイスをしています。
- 人材育成計画に経験・能力や習熟度に応じた期待水準が記載されています。係や役割で職員に可能な限り権限を委譲しています。組織図で責任の所在を明確にしています。
- 「自己評価申告書」で職員の意見や要望を聞いています。また、園長面談、理事長面談でも意見や要望を把握しています。

評価分類VI-1 経営における社会的責任

評価分類VI-1 経営における社会的責任



- (1) 保育所として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。
 - (2) 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取り組みが行われているか。
 - (3) 保育の質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。
- ・職務規程および倫理規定で組織および職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等を明文化し、職員に周知しています。行政や報道で得た他施設での不正・不適切な事案は、職員に申し送り、それらを行わないように啓発しています。
 - ・運営・経営状況を運営委員会（保護者代表が参加）と理事会「小紅の会」（理事、監事、園長、職員等が参加）で報告しています。保護者が見ることできるよう運営委員会の議事録を玄関に置いています。また、職員会議でも質問に答えています。
 - ・経理規程があり、内部監査を定期的に受けています。また、会計事務所、社会保険労務士の指導や監査を受けています。
 - ・ゴミの分別を行うとともに、廃材を手作りおもちゃや仕切りなどに用いています。まめに電気を消すなど省エネルギーに努めています。散歩時にゴミを拾ったり、植物を育てたり、蚊よけ対策として蚊蓮草を育てるなどの取り組みをしています。開園時の計画に横浜市緑アップ計画に基づく園の環境への考え方が記載されています。

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- (1) 保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。
 - (2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。
 - (3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。
- ・保育理念、保育目標を保育室や事務室、厨房、休憩室に掲示し職員がいつでも確認できるようにしています。全体的な計画の立案時に職員に確認するほか、必要に応じて園内研修や職員会議で取り上げています。また、年2回の園長面談、年1回の理事長面談でも、職員が理念、方針を理解しているか確認しています。
 - ・理事長、園長、保護者代表、職員代表、有識者が参加する年3、4回の運営会議で、園長は保護者と継続的に意見交換しています。重要な意思決定にあたっては、園長は職員には職員会議で、保護者には保護者会で目的や決定経緯について説明しています。
 - ・異なる職階、職種で構成する避難訓練、グランマ、壁面、写真、園内研修などのチームがあり、組織をあげて取り組んでいます。
 - ・園長交代を見据えて、計画的に副園長、主任クラスの育成を行っています。
 - ・主任はフリーの立場で各クラスに入り、職員の業務状況を把握し、一人一人の能力や経験に合わせて助言や指導を行っています。主任は個々の職員の様子を見守り、必要に応じて声をかけたり相談にのったりし、職員が肉体的、精神的に良好な状態で仕事に取り組めるように配慮しています。

評価分類Ⅵ－３ 効率的な運営



- (1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。
(2) 保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

- ・園長は中区ネットワークや横浜市私立保育園園長の会、近隣園長による自主的なグループ、山下町町内会などの地域の集まりなどから園運営に影響のある情報を収集、分析しています。重要な情報はリーダー会議で協議し、必要に応じて職員会議で報告して園全体で取り組んでいます。
- ・理事会の年度ごとの事業計画案に中長期的な方向性を明記していますが、具体的な取り組み内容や時期などを中長期計画にまとめるまでには至っていません。方向性は明らかになっているので、中長期計画としてまとめて職員と共有し、計画的に取り組んでいくことが期待されます。
- ・理事会の事業計画に基づき、園としての年度ごとの事業計画が策定されています。
- ・理事長、副理事長、理事、園長からなる月１回の経営会議で、次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たな仕組みを検討しています。園長交代を見据えて、次代の副園長、主任を計画的に育成しています。
- ・会計事務所、社会保険労務士、弁護士、地域有識者などから意見やアドバイスを受けています。

◆利用者家族アンケート◆

【実施概要】

- 実施期間：令和元年5月17日～5月31日
- 実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡しで配付、
評価機関に直接郵送してもらった
- 回収率：配付 30件、回収 27件、回収率 90%

【結果の特徴】

問1の「保育目標・方針」は、84%の方が知っており、その95.3%の方が賛同しています。

問2～問7で、「満足」の回答が80%以上の項目は、次のとおりです。

問5の「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか」・・・・・・92.3%

問7の「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」・・・・・・84%

問4の「クラスの活動や遊び」「戸外遊びを十分にしているか」「おもちゃや教材」

「友達や保育者との関わり」、問6の「園の様子や行事に関する情報提供」・・・・80.8%

問2の「見学の受け入れ」「入園前の情報提供について」「入園前の面接などでお子さんの様子や
生育歴などを聞く対応」・・・・80%

そのほか、問2の「園の目標や方針についての説明」「保育園での一日の過ごし方についての説明」
「費用やきまりに関する説明」、問3の「年間の保育や行事についての説明」、問4「園外活動」「給
食の献立内容」、問5「施設設備」、問6「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」「園
の行事の開催日や時間帯への配慮」「お子さんに関する重要な情報の連絡体制」の項目で、75%以
上の満足となっています。

問2～問7で、「不満度」(「不満」+「どちらかといえば不満」)が15%を超える項目はありませんで
した。その中で比較的、不満度の回答が多かったのは、次のとおりです。

問6「送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換」「お子さんに関する重要な情報の連絡体
制」・・・・・・11.6%

保育園の総合満足度は、92%となっています。（「満足」64% 「どちらかといえば満足」28%）

自由記述欄では、「実家のように安心して預けることができる場所です」「子どもたちに対する接し方
や気配りが素晴らしく満足している」「あたたかく、毎日楽しいです」などの意見のほか、「子ども
の写真の電子データをいただきたい」「お昼寝が長いと夜寝ないので、短くしてほしい」などの意見があ
りました。

保育園小紅 利用者家族アンケート集計結果

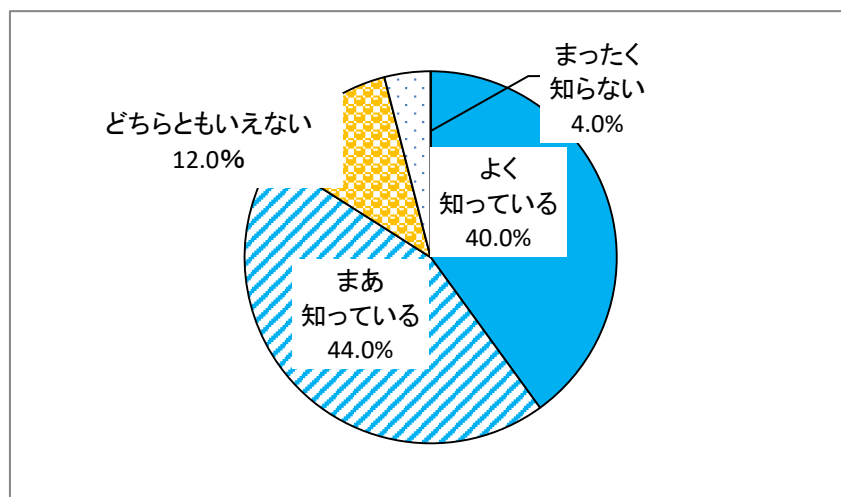
実 施 期 間	平成31年5月20日～ 5月31日
調 査 対 象	利用者家族
配 布 世 帯 数	30 件
有 効 回 答 数	27 件
回 収 率	90.0 %

お子さんのクラス	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	無回答	(人)
	5	9	11	1	

※2人以上在籍の場合、下のお子さんのクラスで回答

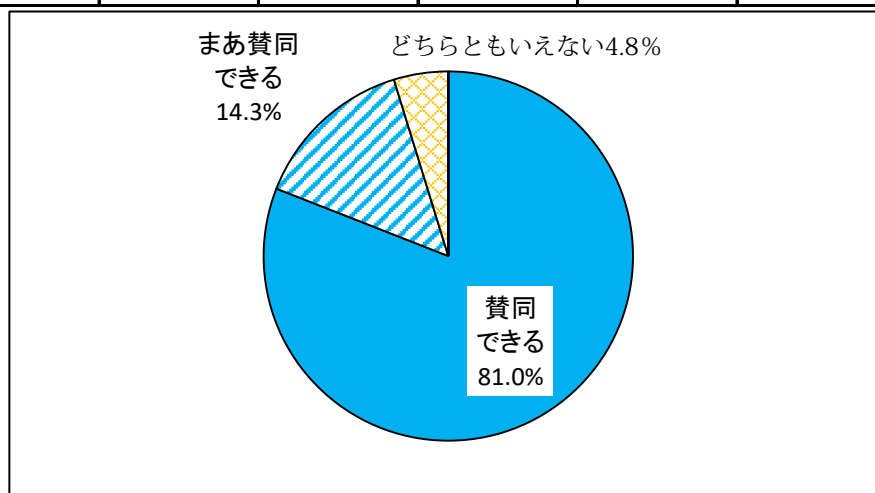
問1 保育園の基本理念や基本方針について

	よく 知っている	まあ 知っている	どちらとも いえない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答	(%)
あなたは、この園の保育目標や保育方針 をご存じですか	40.0	44.0	12.0	0.0	4.0	0.0	



1 よく知っている 2 まあ知っている とお答えの方へ

付問1 あなたは、その保育目標や保育方針は賛 同できるものだと思いますか	賛同 できる	まあ賛同 できる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同 できない	無回答	(%)
	81.0	14.3	4.8	0.0	0.0	0.0	



問2 入園する時の状況について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
見学の受け入れについては	80.0	12.0	0.0	0.0	8.0	0.0	
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
園の目標や方針についての説明には	76.0	20.0	4.0	0.0	0.0	0.0	
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	80.0	16.0	0.0	4.0	0.0	0.0	
保育園での1日の過ごし方についての説明には	76.0	20.0	4.0	0.0	0.0	0.0	
費用やきまりに関する説明については	76.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問3 保育園に関する年間計画について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
年間の保育や行事についての説明には	76.0	20.0	4.0	0.0	0.0	0.0	
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	60.0	28.0	8.0	0.0	4.0	0.0	

問4 日常の保育内容について「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
クラスの活動や遊びについては	80.8	19.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	80.8	19.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
園のおもちゃや教材については	80.8	19.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	76.9	19.2	3.8	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	80.8	15.4	3.8	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	73.1	23.1	3.8	0.0	0.0	0.0	

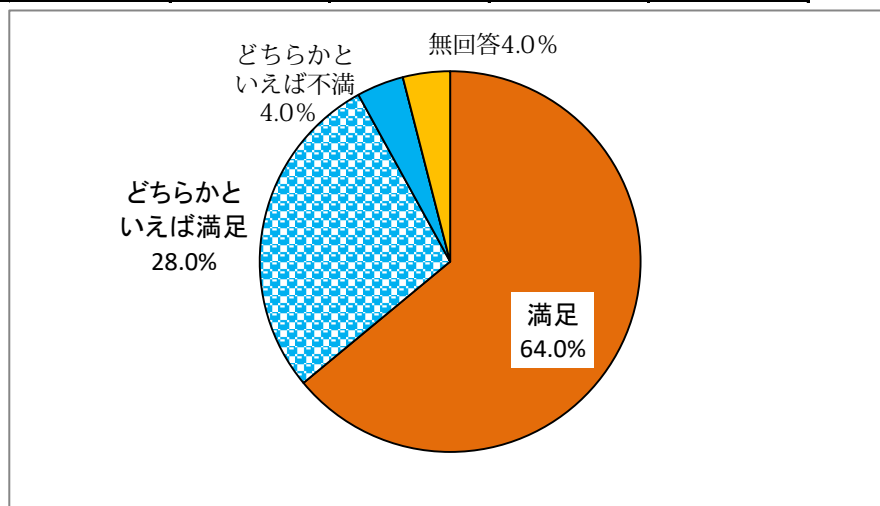
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
給食の献立内容については	76.9	19.2	0.0	3.8	0.0	0.0	
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	73.1	23.1	3.8	0.0	0.0	0.0	
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについては	65.4	26.9	0.0	7.7	0.0	0.0	
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	69.2	23.1	3.8	0.0	3.8	0.0	
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	73.1	23.1	3.8	0.0	0.0	0.0	
お子さんの体調への気配りについては	69.2	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	65.4	30.8	0.0	0.0	3.8	0.0	

問5 保育園の快適さや安全対策などについて	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
施設設備については	76.9	19.2	0.0	3.8	0.0	0.0	
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	92.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	69.2	26.9	0.0	3.8	0.0	0.0	
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	73.1	19.2	3.8	3.8	0.0	0.0	

問6 園と保護者との連携・交流について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	76.9	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	80.8	15.4	0.0	3.8	0.0	0.0	
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	76.9	15.4	3.8	3.8	0.0	0.0	
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	73.1	11.5	7.7	3.8	0.0	3.8	
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	76.9	7.7	7.7	3.8	0.0	3.8	
保護者からの相談事への対応には	65.4	26.9	3.8	0.0	0.0	3.8	
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	73.1	15.4	3.8	0.0	3.8	3.8	

問7 職員の対応について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
あなたのお子さんが大切にされているかについては	72.0	24.0	0.0	0.0	0.0	4.0	
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	84.0	12.0	0.0	0.0	0.0	4.0	
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	68.0	24.0	0.0	0.0	4.0	4.0	
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	64.0	28.0	4.0	0.0	0.0	4.0	
意見や要望への対応については	66.7	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	

問8 保育園の総合的評価	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	(%)
総合満足度は	64.0	28.0	4.0	0.0	4.0	



◆利用者本人調査◆

【実施概要】

■実施日時：令和元年 7月 8日

■実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また、会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

●0歳児クラス

まだまだ赤ちゃんのなごりのある子どもたちですが、カートに乗って、保育士の歌を聞きながら公園へ出かけます。途中、歌に合わせて身体を動かしたり、手を振って楽しそうな様子が伝わってきます。

公園に着くと保育士が敷いたビニールシートの上で、スプーンで、プリンケースに砂をすくって入れて遊んでいます。砂を口に入れることはなく、お茶を飲むふりなど、ごっこ遊びの様子がみられました。時々、1,2歳児が遊びに来て声をかけることもあります。まだ一緒に遊ぶ様子はありません。

園に戻ると、玄関で、保育士が靴と靴下、ズボンを脱がせると、自分から保育室まではいいや、保育士につかまり歩きで移動します。

おむつ交換は、寝るのをいやがる子どもは、保育士につかまって立ったまま履き替えるなど、子どもの様子に合わせています。保育士はおむつ交換の際に子どもの湿疹や発熱がないか確認しています。

子どもたちは、保育室の真ん中に置かれたベビーサークルにつかまって遊んでいます。入り口から出たり入ったりを繰り返し、自分で出入りができるとうれしそうに保育士を振り返ってみます。まだ、立ち上がって敷居をまたげない子どもは、座って自分の足を手で持って敷居の向こうに足を運んでいます。

給食のためのテーブルの用意ができるとエプロンをしていすに座り、保育士が大きな絵本を読み、猫や怪獣が「ばー」と顔を出すと手を振る子ども、笑い声をだす子どももいました。給食の歌のあと、日本語と中国語で「いただきます」をして給食が始まります。スプーンは両手付きのカップを自分で持って飲みます。一人に一人ずつ保育士がつき、最初は保育士が長いスプーンで介助しますが、後半から自分でも手づかみやスプーンを持って少しずつ自分の口に運びます。保育士はスプーンに小分けに乗せて子どもが自分で口に運ぶ手伝いをしています。

給食の後、保育士が一人ずつ連れて調乳室に移動し、だっこしながらミルクを飲ませます。子どもは保育士を触ったり、ほ乳瓶を握ってみたり、自分のペースでくつろいでミルクを飲んでいる様子が見られました。

●1歳児クラス

公園で子ども達はコップに砂を入れたり出したり、スプーンで砂をすくって皿に入れ、それをコップに移したり、それぞれが好きなことを夢中になって遊んでいます。時々、友だちと見せ合って笑ったり、真似をし合ったりしていて、子ども同士の関わり方もできていて、楽しそうな姿が見られました。「そろそろお片付けしますよ」という保育士の声かけがあると、子どもは自分からおもちゃを片付けはじめ、終わると保育士が歌を歌って待っている縁石に座ります。なかなか片付けない子どもには他の保育士たちが話しかけ遊びを終わらせます。

園に戻ると、自分で石鹸をつけて手をよく洗った後すすぎます。おむつ替えは、自分で脱げるところまでやります。トイレを使える子どもが多く、自分でパンツを脱いで自分からトイレに座り、終わると保育士に拭いてもらいできるところまで、自分でおむつやパンツ、ズボンをはいています。

自由遊びでは、ブロック、絵本、ぬいぐるみなど、それぞれ好きなおもちゃで遊びます。保育士は、子ども同士でおもちゃの取り合いなどがあると、間に入って、相手に使っているか確認するなど、両方が納得できるように支援しています。

子どもたちは、おむつの交換が始まると自分のおむつを取りに行ったり、友だちが泣いていると背中をトントンとたたいてあげる仕草が見られ、日頃から、保育士のやっていることをよく見ていることが伺われました。

食事は上手にスプーンを使い、ゆっくりと自分のペースで食事をしています。保育士は「おいしい」「さすが」「すごい」などと声がけし、食が進まない子どもには保育士がすくって渡したり、食べさせたりしています。食べ終わると最後にお茶を飲み、エプロンを脱いで口を拭いて、「ごちそうさま」をすると、スモックを脱ぎ、ブロック、人形などで自由遊びが始まります。

給食が終わると、保育士は、オムツ替えのあと、子どもを集めて絵本読み聞かせ、布団の上に移動し、カーテンを閉めて午睡のため消灯します。

●2歳児クラス

公園では、友だち同士で会話をしながら、皿に砂を入れて型抜きし、ひっくり返して「ケーキ」「おにぎり」といいながらごっこ遊びをしています。

子どもたちは、他の子どもが使っているおもちゃがほしいときには、「貸して」などと声がけしています。保育士が一人ずつの癖やこだわりを理解し、必要に応じて子どもに合わせた声かけをしています。

保育士が「線路は続くよ」の歌を歌いながら線路を砂に書くと、後ろを子どもたちが縄跳びを使って電車遊びを始めます。保育士が「どこに行く」と聞くと子どもたちは「アンパンマンミュージアム」「ポケモンミュージアム」などと答え、縄跳びの握り手を運転席に見立てて交代で運転手になっています。テントウムシを見つけた子どもがバケツに入れて皆に見せて回ると、他の子どもたちも興味津々に見ています。手作り双眼鏡でアリを観察している子どももいました。保育士の「そろそろお片付け」の声かけで、子どもたちはおもちゃを片付け、テントウムシを捕まえた子どもは木に放しにいました。

園に戻ると、玄関で並んで自分で靴を脱いで棚にしまい、トイレ入口でズボンとパンツを脱ぎ、便器に座ります。ほとんどの子どもがトイレでおしっこをすることができ、保育士に拭いてもらって水を自分で流し、パンツか紙パンツ、ズボンを自分ではき、上手にはけない子どもは保育士が手伝っています。

手洗いのあと、テーブルに向かって座って、保育士が読んでいる絵本やパネルシアターを集中して聞いています。絵本に興味がなかった子どもには、保育士が一人ついて、自由に移動するのを見守りながら落ち着かせていました。

給食が始まると、食事前に保育士がメニューと食事をざっと紹介すると、子どもたちも食べながら、ニンジン、ちくわ、キュウリなどといっています。保育士は「良かんね」「おいしいね」と声かけをしています。白米が苦手な子どもが多く、なかなか食が進まない子どもには、保育士が、少しでも食べてもらおうと、様々な声かけや手助けをそれぞれの子どもに合わせてしていました。

◆ 事業者コメント ◆

この度、初めて第三者評価を受審するにあたり、保護者の皆様には日常の保育に対して実施された「利用者家族アンケート」にご協力いただきましたこと、心から感謝申し上げます。

事前提出資料を揃えて行く中で、マニュアルの再確認を行うことが出来、第三者評価票の6つの分類別自己評価では、全職員で意見交換しながら取り組み、自らも弱点を見つけられ、日頃の保育活動を見直す貴重な機会を頂きました。

そして、迎えた訪問調査では、施設の環境・設備、職員の保育の姿を通しての子どもの表情・表現、更に保護者との関わりについてヒヤリングを受け、第三者の立場から客観的なアドバイスを頂くと同時に、努力している点について評価して頂き、職員の自信につながりました。

第三者評価を通して（１）中国人の利用者が多い地域にあって、日本での子育てに悩む保護者の相談や離乳食講座などの開催（２）積極的にボランティアや実習生の受け入れを行うという課題を提起して頂き、今後取り組んでまいります。

私たち保育園小紅は、ご指摘して頂きましたことを真摯に受け止め、事業主・園長・職員で話し合い、各自の専門性の向上及び保育の質の向上に向けた組織的な取り組みに努める事を確認しました。

最後に、よこはま地域福祉研究センター職員および第三者評価調査委員の方々のご指導と評価にあらためて感謝申し上げます。

一般社団法人 横浜華僑小紅の会
保 育 園 小 紅
園長 佐久間 愛玲

福祉サービス第三者評価 評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 17 番地 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

URL : www.yresearch-center.jp/ Email : top@yresearch-center.jp



かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

川崎市福祉サービス第三者評価認証機関 第 14 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

東京都福祉サービス第三者評価認証評価機関 認証番号 機構15-232

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 2510-002-02